

2015年11月4日
在ムンバイ日本国総領事館

在留邦人の皆様及びインドに渡航中の邦人の皆様へ

11月の祝祭及び12月の休暇シーズンに向けての注意喚起

- 1 11月11日（水）はディワリの祝日に当たりますが、この時期、インド全土の各地寺院、催し物会場、マーケット、観光施設等では普段以上の多数の人で混雑することが見込まれ、場所によっては宗派間の衝突による暴力事件等不測の事態が発生しないとも限りません。昨年も、ディワリの祝日明けの夜にデリー市東部のウツタル・プラデシュ（UP）州境近くにおいて、ヒन्दゥー教徒とイスラム教徒の衝突事件が発生し、多数のけが人が出るとともに数十人の逮捕者が出る事件が発生しました。
- 2 インド国内の各州におけるヒन्दゥー教徒とイスラム教徒による宗派間の対立は、最近でこそ大規模な事件の発生は報告されていませんが、依然として両宗派コミュニティ間の争いから暴力に発展する小競り合いのような事件は、日常的に発生しています。
- 3 また、11月25日（水）はシーク教の祝日に当たる他、12月下旬にはイスラム教の休日及びクリスマスがあり、その後学校、企業などが年末年始の休暇シーズンに入ることから、それぞれ多数の人が国内外を移動すると見込まれます。
- 4 つきましては、在留邦人の皆様、インドに渡航中の皆様におかれましては、不測の事態に巻き込まれることのないよう、常日頃から以下の注意事項をご留意の上、ご自身及びご家族の皆様の安全に十分心掛けてください。
 - (1) 早朝及び夜間における徒歩による外出は避ける。
 - (2) 日中の移動においても、できる限り自家用車、タクシー等の車両を使用し、徒歩、バス或いはオートリキシャでの移動は極力避ける。
 - (3) 外国人が多く集まるイベントや外国関係施設、寺院、モスク、催し物会場、マーケット、駅、空港など多数の人が集まる場所には用事のない限り近づかないようにする。
 - (4) 繁華街や観光地区等への外出が必要な場合は、滞在を必要最小限とする。
 - (5) 外出に際しては、常に周囲の状況に注意を払い、不審な状況を察知した場合には、速やかにその場から離れる。

5 テロ等対策に関しては、外務省海外安全ホームページに掲載されている以下の情報も併せてご参照ください。

(1)パンフレット「海外へ進出する日本人・企業のための爆弾テロ対策Q&A」

(2)パンフレット「海外旅行のテロ・誘拐対策」

また、インドの危険情報等についても外務省海外安全ホームページに掲載されていますので、ご自身及びご家族の安全対策の参考にしてください。

(問い合わせ窓口)

○在インド日本国大使館電話：(91) -11-2687-6564

○在コルカタ日本国総領事館電話：(91) -33-2421-1970

○在チェンナイ日本国総領事館電話：(91) -44-2432-3860

○在ムンバイ日本国総領事館電話：(91) -22-2351-7101

○在ベンガルール領事事務所電話：(91) -80-4064-9999